

「一階から入って二階から出る」

指導部特別支援学校教育担当課長 山本 優

2 学期が始まって 1 か月が過ぎようとしています。子供たちや先生方もすっかり日常のペースを取り戻し、充実した学校生活を送っていることと思います。

長期休業が明けた始業式の日への出会いは、日頃からよく知った関係とは言え、教師も子供も新鮮さを感じるのではないのでしょうか。日焼けした顔にたくましさを感じたり、身長伸びに目を見張ったり、受験勉強を頑張った姿に胸を熱くしたりなど、教師であれば、改めて一人ひとりの子供の存在を新鮮に感じるとともに、2 学期の始まりに新鮮な使命感を覚えるのではないのでしょうか。

学びにとって新鮮であることは大事です。新鮮であることは好奇心を呼び起こします。好奇心は学びの原点です。であるなら、好奇心のないところに学ぼうとする気持ちは育たず、新鮮さのないところに好奇心は生まれません。

以前、映画監督の宮崎駿さんが、「（その映画を観終わったら）一階から入った人が二階から出てくるような感じになるといい」と話され、それを聞いた音楽家の久石譲さんも、「僕も同感で、勇気が出たとか、一つ賢くなったとか、何かプラス材料になるものを得てほしいという願望がある」といった話をされていました。よほど印象に残ったのか、メモ嫌いの私の手帳に走り書きされています。

「一階から入って二階から出るような感じ」。そこには新鮮な世界が開けている感じ。そんな感じを日々の学校生活で子供たちに感じてほしい。毎日の授業が、子供たちにとって常に新鮮であり、何か新しい発見（好奇心の芽）があって、喜々として帰路につけるようなものであってほしいと願っています。

目次

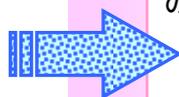
- 平成 25 年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」
調査結果の分析から授業改善へ 2
- 「理数教育の窓」— 理数好きの子供たちを育てるために — 4
- 「道徳教育の窓」— 東京の子供たちの豊かな心を育む — 5
- 「特別支援教育の窓」— 全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して — 6

東京都教育委員会ホームページ内に「学び応援ページ」というコーナーがあるのを御存じですか？

「学び応援ページ」には、各学校が、指導内容や指導方法等の工夫を通して、授業の改善・充実を図ることを応援するための、様々な事例集や報告書等を掲載しています。ぜひ、御覧いただき、参考にさせていただければと思います。なお、本通信のバックナンバーも、「学び応援ページ」に掲載しています。

（東京都教育委員会ホームページアドレス
<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>）

学び応援ページを御活用ください！



東京都教育委員会ホームページ・トップページ
の下の方に、このバナーがあります！



★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを御送信ください。

平成 25 年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」

調査結果の分析から授業改善へ

前号(8月30日配信)において、平成25年度『児童・生徒の学力向上を図るための調査』の都平均正答率(速報値)をお知らせしました。ここでは、調査結果の分析から授業改善へとつなげる手だてを御紹介します。

課題を抽出する

自校の教科全体や教科の観点別の正答率を都平均正答率(速報値)と比較することに加えて、よりきめ細かく課題を把握するために、設問ごとに正答率を見ていくことが重要です。11月に、全ての設問についての正答率や誤答の反応率等を示した報告書を各学校に配布する予定ですが、「個人票作成プログラム」に入力したデータを活用すれば、迅速に自校の児童・生徒の課題を抽出することができます。

個人票作成プログラムにデータを入力すると、各教科の全ての設問について、それぞれの正答率が集計されたシートが作成されます。例えば、「正答率が40%に満たないもの」というような基準を決めて、どの設問に課題が見られるのかを確認してみましょう。



〈個人票作成プログラム入力後に集計されるデータシート〉ある小学校を例にした場合

正答率 (%)									
国語	受検者数	1-(1)	1-(2)	1-(3)	1-(4)	2-(1)	2-(2)	3-(1)	3-(2)
	120人	70.0%	95.0%	90.5%	65.5%	60.0%	95.5%	75.0%	70.0%
社会	受検者数	1-(1)	1-(2)	2-(1)	2-(2)①	2-(2)②	2-(2)③	3-①	3-②
	120人	60.0%	45.5%	90.0%	85.5%	90.5%	85.0%	30.5%	20.5%
算数	受検者数	1-(1)	1-(2)	1-(3)	1-(4)	2-(1)	2-(2)	2-(3)	2-(4)
	120人	80.5%	60.0%	75.5%	65.0%	70.0%	35.5%	75.5%	65.0%
理科	受検者数	1-(1)	1-(2)	2-(1)	2-(2)	2-(3)	3-(1)	3-(2)	4-(1)
	120人	75.0%	80.5%	75.0%	70.5%	90.0%	60.5%	45.0%	20.5%

③ あきさんは、東京都と隣り合っている県について調べました。次の地図中の①から④までの県の名前をそれぞれ書きましょう。また、①から④までの説明として最もふさわしいものを、下のAからDまでのカードの中からそれぞれ1つ選び、記号で答えましょう。
なお、県名はひらがなで書いてもかまいません。

A この県と東京都との都県境には空港があり、この空港を利用する人々が多いです。

C この県を流れる川の水は、東京都で使われる水道水の水げんの約80%をしめています。

B この県と東京都との都県境には、東京都が管理する広大な水道水げん林が広がっています。

D この県と東京都との都県境はすべて、標高が20m以下の低い土地です。

【社会的事象についての知識・理解】 ①-③

② 次の(1)から(4)までの、それぞれの□に当てはまる数を書きましょう。

(1) 1億の10000倍の数は、□です。

(2) 125億は、125万の□倍の数です。

(3) 43000は、100を□個集めた数です。

(4) 8.9は、0.01を□個集めた数です。

④ さなえさんたちは、太陽の動きとかげの動きについて調べました。あとの(1)と(2)の問題に答えましょう。

(1) さなえさんたちは、ある日の太陽の位置を、午前8時から午後4時の間におきに調べました。次の【図】は、さなえさんたちが調べた太陽の位置と、その日の正午と午後4時のかげの向きをスケッチしたものです。この日の午前10時にはどのようなかげができていたと考え【図】で示した正午と午後4時のかげを参考に、午前10時の紙の図にかき入れましょう。

【科学的な思考・表現】 ④

【社会】
東京都と隣り合っている県の名称と特色を捉えることに課題があります。(社会的な事象についての知識・理解)

【算数】
数の相対的な大きさを捉えることに課題があります。(数量や図形についての知識・理解)

【理科】
太陽の動きとかげの動きを捉え、予想したり表現したりすることに課題があります。(科学的な思考・表現)

抽出した課題を分析する



正答率が低かった問題やその観点について、分析を行います。
「なぜできなかったのか」「どのように考えてしまったのか」といった視点から課題を分析し、児童・生徒の実態を把握します。

2 次の(1)から(4)までの、それぞれの に当てはまる数を書きましょう。

(1) 1億の10000倍の数は、 です。

(2) 125億は、125万の 倍の数です。

(3) 43000は、100を 個集めた数です。

(4) 8.9は、0.01を 個集めた数です。

【数量や図形についての知識・理解】⑤～⑧

【分析①】

正しく解答できなかった児童は、「億」と「万」との単位の関係が理解できておらず、1000万の次が1億になることを捉えられていないと考えられる。

【分析②】

正しく解答できなかった児童は、億や兆などの単位になったときに数の大きさのイメージがもてず、他の数と比較したり相対的な大きさを捉えたりすることができないと考えられる。

まず、できなかった問題を、もう一度丁寧に指導します！

- ◆分からないことがあれば分かるまで…
- ◆身に付いていないことがあれば身に付くまで…

分析した内容を授業に反映させる

分析した内容を基に、課題の見られる指導事項を定着させるための手だてを考え、授業に反映させます。指導方法や学習活動にどのような工夫をすればよいかを具体的に考え、実践していくことが大切です。



社会

- ◆都道府県の位置と名称、特色について
 - ・自分との関わりや生活との関連で捉えさせる。
 - ・日常的に学習場面をつくる。
 - ・定期的の確認テスト等を行い定着を図る。

- ・この商品は、どこから来たのだろうか？
- ・地図で場所を確かめてみよう。
- ・県庁所在地はどこだろうか？
- ・地形や気候の特徴はなんだろうか？
- ・有名な特産品はなんだろうか？ ……

算数

- ◆位取りや数の相対的な大きさの把握について
 - ・大きな数を4桁ごとのまとまりで捉えさせる指導を徹底する。
 - 千百十 兆 千百十 億 千百十 万 千百十
 - ・他の教科等で数の表記を工夫したり複数の数値の大小関係を比較したりする活動にくり返し取り組ませる。

- ・都道府県の人口を比べてみよう。
- ・1年間のゴミの量を調べてみよう。
- ・地球から月までの距離を調べてみよう。
- ・太陽の直径と地球の直径を比べてみよう。
- ・マラソンの42.195kmは、一周200mのグラウンド何周分だろうか？ ……

理科

- ◆太陽の動きとかげのでき方の予想や表現について
 - ・仮説や予想を立てさせてから実験・観察を行う。
 - ・観察や実験結果から規則性を捉えさせる。
 - ・予想や結果を、言葉・図表・絵などで記録させる。

- ・2時間後に星座はどの位置に見えるだろうか？
- ・一週間後の月はどのような形に見えるだろうか？
- ・電池を3つにしたとき、モーターの回り方はどのように変わるだろうか？
- ・ゴムを伸ばす長さを1.5倍にすると、ゴムフックカーの進む距離はどう変わるだろうか？ ……

抽出された課題や分析の内容に応じて、「知識を定着させるための工夫」「考え方を身に付けさせるための取組」等のように授業改善のポイントや指導方法の工夫も変わります。課題の見られた問題について正しく解答できるようにすることを目標とするだけでなく、身に付けさせたい力を明確にして日々の授業に反映させていくことが大切です。

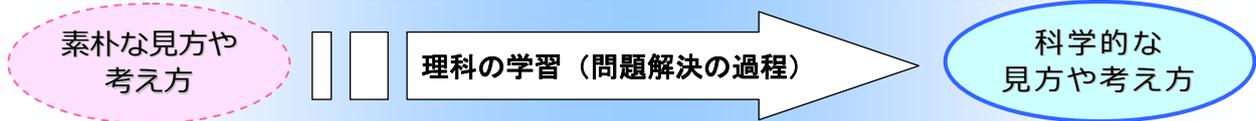


「理数教育の窓」 —理数好きの子供たちを育てるために—

科学的な見方や考え方を育む「理科における言語活動」

理科の学習では、子供たちがもつ自然の事物・現象についての素朴な見方や考え方を、問題解決の過程を通して科学的な見方や考え方に高めることをねらいとしています。

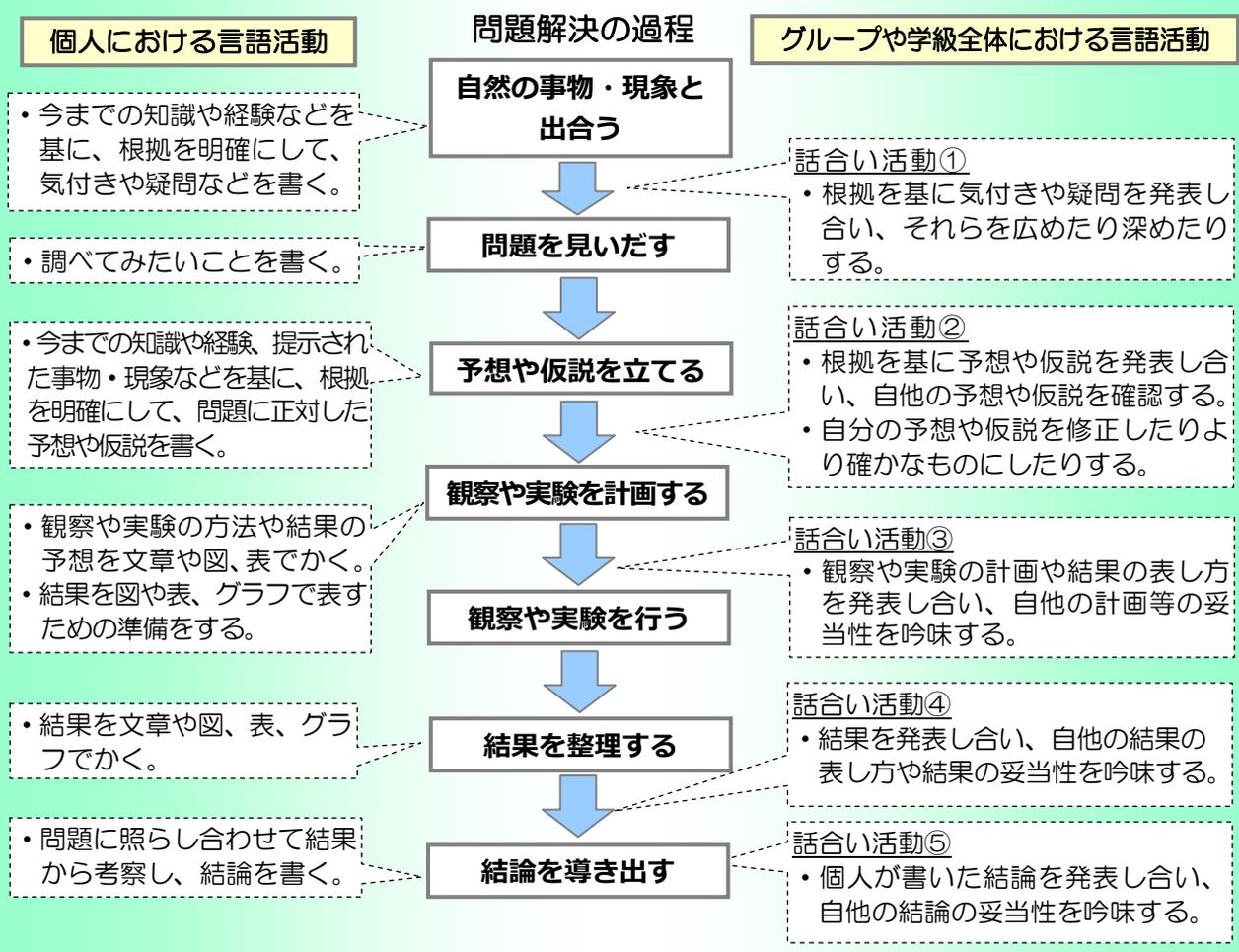
理科の学習を通じた科学的な見方や考え方の育成イメージ



科学的な見方や考え方を育むためには、単に観察や実験などの体験活動を行わせるだけではなく、子供たちが既にもっている知識や経験を基に予想や仮説を立てる活動、観察や実験の結果を考察して表現する活動、科学的な言葉を使って考えたり説明したりする活動など、問題解決の各過程において行われる言語活動を充実させることが重要です。

ここでは、理科の学習での問題解決の過程における言語活動の例を示します。理科の学習においても様々な言語活動が考えられることが改めてよくわかります。科学的な見方や考え方の育成に向けて、意図的・計画的に言語活動を設定し、言語活動の充実を図っていきましょう。

理科の学習での問題解決の過程における言語活動（例）



参考 「平成22年度 教育課題等研究開発委員会指導資料集（小学校言語活動開発委員会）」

＜平成23年3月 東京都教育委員会＞

「道徳教育の窓」

— 東京の子供たちの豊かな心を育む —

学校全体で取り組む道徳教育の推進

～ 平成24年度 道徳教育推進状況調査より ～

道徳教育は、道徳の時間を要としながら、学校の教育活動の様々な場や機会を捉え、自己の生き方についての指導や人間としての生き方を見つめさせる指導を通して、児童・生徒の調和的な道徳性を育むものです。そのため、学校全体で共通理解を図り、児童・生徒の実態に応じて特色ある道徳教育の取組を推進することが重要です。

各学校における重点的指導の工夫について

各学校においては、児童や生徒の実態、学校の特色などを考慮し、重点的指導を工夫することが求められています。

右のグラフのように、平成24年度の道徳教育推進状況調査の結果では、約半数の学校が、平成25年度の道徳教育の全体計画を作成するに当たって、学校の課題を踏まえ特色を生かすための「重点的な道徳教育の展開」の観点から計画を見直しています。

重点的な道徳教育を展開していくためには…

まず、校長の方針の下に道徳教育推進教師を中心に、**全教師が協力して、児童や生徒の実態、保護者の意見等を把握し、学校全体における道徳教育の重点目標を決めていく**ことが求められます。その上で、各学年の重点目標を設定したり、それを具体的に指導していくための方途を各教科等で明確にしたりして、**実効性のある全体計画を立てる**ことが重要です。

道徳の時間においては…

重点的に指導する内容項目については、**年間の授業時数を多く取り**、各教科等での指導との関連を図りながら一定の期間をおいて**繰り返し取り上げたり**、一つの内容項目を**何回かに分けて指導したり**するなどの工夫が求められます。

Q 平成25年度の道徳教育の全体計画を作成するに当たって、平成24年度と比較して、どのような観点から見直しましたか。

(複数回答)

「重点的な道徳教育の展開」と答えた学校数



Q 平成25年度の道徳教育の全体計画について、「別葉」を作成していますか。

「作成している」と答えた学校数



東京都道徳教育教材集の活用について

中学校版「心みつめて」(平成24年7月配布)の活用が進んでいます。

昨年7月に配布されて以降、平成25年3月31日現在で、96.3%の中学校で活用されました。道徳の時間以外でも、各教科、総合的な学習の時間、特別活動で活用されています。今後も、一層の活用の推進をお願いいたします。

全体計画の別葉の作成・活用について

学習指導要領解説には、全体計画の「別葉」として、道徳教育に関わる各教科等の指導及び体験活動等の内容及び時期、家庭や地域社会等との連携などを記載した資料を作成することについて示されています。

この「別葉」の作成については、左のグラフのように約半数の学校が作成しています。

「別葉」の作成に当たっては…

「別葉」の作成は、各学校としての道徳教育を、組織として積極的に進めるためのものです。道徳の時間以外の道徳教育の内容及び時期を明確にすることで、道徳の時間との関連を図った指導の充実を図ることができます。したがって、網羅的になることなく、重点的指導を進める上で重視する内容や活動など、教師全員の共通理解が必要なものを記載します。

《「別葉」の作成例》

項目教科等	小学校高学年の例			
	国語	月	社会	算数
1-(1) 基本的な生活習慣			生活を取り巻く工業製品 工業製品との関わりから自分たちの生活を見直す。	6月 がい数の計算 買い物の代金の見当をつける活動を通して生活を振り返る。

「特別支援教育の窓」

—全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して—

校外学習への参加

特別な支援を必要とする児童・生徒が校外学習に参加する際には、児童・生徒の日頃の学校生活の様子から、配慮事項や指導の手だてを工夫することが必要です。校外学習を実施するときに配慮するポイントを考えてみましょう。



A君は衝動的な行動が多く、教室移動時に突然廊下を走りだしたり、友達に乱暴な行動をしたりすることがあります。来週の工場見学に当たって、どのような指導をすればよいのでしょうか。

アドバイス

A君が行動を起こすきっかけを、日頃の学校生活の様子から把握しておくことが大切です。A君の気持ちを理解し、指導の手だてを考えるとともに、特に校外での学習時には、A君の行動を予測して、適切な事前の準備をしておくことが必要です。



A君の日頃の様子

- ・衝動性があり、気持ちのままに行動してしまう。
- ・大きな音や叱る声を聞くのが苦手である。
- ・言葉による指示の理解が不十分で、注意されていることや叱られていることが伝わりにくい。

指導のポイント

安全な校外学習のために、事前の準備と丁寧な指導を心掛ける。

A君への指導

- ・実地踏査で撮影した見学先の写真や「しおり」のタイム表などにより当日の見学の流れを具体的に分かりやすく示す。
- ・移動時の約束、見学場所での約束など、小さな約束を用意し、守れたらその場で褒めるようにする。
- ・指導は短い言葉で具体的に行う。



校内体制の工夫

- ・校内委員会や学年会等を活用し、校外学習当日のA君の対応について共通理解を図るとともに、実地踏査での確認ポイント等について助言を得る。
- ・引率者の役割分担を確認し、A君の指導方針について事前に打合せを行う。



他の児童・生徒の協力

- ・日頃から同じグループで学習しているなど、A君をよく理解している児童と同じグループで見学できるようにする。
- ・困ったときの対応について、グループの児童と確認をしておく。



見学先との調整

- ・実地踏査の際に、A君の予測される行動に対応するため、大きな音のする場所や危険な場所を確認する。
- ・休憩室など、落ち着いて指導できる場所の使用について、あらかじめ見学先の担当者と相談しておく。



個別の教育支援計画を活用しながら、関係者と児童・生徒の支援について話し合い、安全で充実した校外学習を実施しましょう。